

【新型コロナ・不審者に注意報発令！！】

- 1 昨日、鳥取市において「新型コロナウイルス感染症」の患者が確認されたことにより、東部地区に県版コロナ「注意報」が発令されました。今後、濃厚接触者の状況によっては感染が広がる可能性があります。再三確認されてきたことですが、改めて注意をお願いします。
- ①登校前の検温を必ず行い、登校・受診等の判断と対応をしてください。 ②「三つの密（密閉・密集・密接）を避ける」・感染防止距離（2m程度）を守る。 ③マスクの着用・こまめな手洗い・十分な換気を行う。 ④正確な情報を確認し、不確かな情報に惑わされないように冷静な行動をとる。★偏見や差別・いじめを見逃さない、許さない！

今後、「鳥取県版コロナ警報」が発令されることも想定し、万が一、臨時休校になってしまった場合の家庭学習の準備や生活の仕方、予定されている中部地区総体や各種大会・発表会等々の対応を考えて、事前に十分な準備をしておいてください。

- 2 『不審者対応』について、これからのシーズンは特に警戒をしておく必要があります。
- ①昨日、7月2日午後4時：湯梨浜町松崎地内 20～40代くらいの男性、黒ズボン・白い無地のTシャツ、黒メガネ、短髪でマスク着用。女子児童に向かい、スマホを電話しながら近づいてきて身体の一部を触り、その後走って逃げた。警察へ通報。
- ②6月30日：三朝町役場 付近、「年齢40、身長175 cmくらい・黒メガネ・細身・マスク着用」、女子高校生が歩いて帰る途中、すれ違いざまにスマホで動画を撮られた。振り向いたら手を振って近づいてきたが、逃げたらついては来なかった。
- ③7月1日：倉吉上古川付近、小学校4年生の児童が帰宅途中に、男性が何度も行く手をふさぎ邪魔をした。児童は引き返して友人宅にかけ込むと白い車で去って行った。
- 昔から「明日は我が身」という言葉がありますが、今だからこそ意識しながら生活していくことが必要のようです。



《社会を明るくする運動》

【「支え合う仲間たち」 特別支援教育も充実】

最近では、人種差別や国の法律に関わる問題で混乱が続いている国があり、人権に関わる意識も高めていく必要があると考えています。身近なところに目を向けると、私たちが暮らす社会には色々な人たちがいます。人によってさまざまな体型の人がいたり、スポーツの得意な人や勉強が好きな人やそれらが苦手な人もいます。自分の思ったことや感じたことがすぐに言える人もあれば、すぐに言葉にならない人もいます。「違いがあるから楽しい、色々な人がいるからこそおもしろい」、違いがあるからこそ、お互いに苦手なことを補い合い、支え合えるのです。そうして、性格や考え方も違う私たちですが、共通していることは『一人一人がかけがえのない存在』だということです。

特別支援学級について考えてみると、学習の仕方や理解の仕方についても人それぞれ違いがあります。聞いて理解するのが得意な人があれば、見て理解するのが得意な人もあります。多くの人たちと一緒に学ぶことのできる人がいれば、少ない人数で学習することで力が伸びる人もいます。短時間ですぐに理解できる人がいれば、時間をかけてじっくりと着実に力を伸ばして行く人もいます。どちらにしても共通するのは「**わかりたいという気持ち・わかると嬉しいという気持ち**」です。湯梨浜中学校では、生徒たち一人一人の力を伸ばすために色々な学習の場がつくられています。協同学習を主体として、少人数学習やT・T、ペア・班学習・個別学習等の教え合いが盛んに行われています。A・B・C・D・E・F組もその一つで、今、持っている力を考慮しながら、学習する力や生活する力をつけるための学級です。それぞれの学級の生徒たちも、仲間や先生方と支え合って充実した生活が送れるように取り組んでいます。

1年生の元気のよさや活き活きと楽しそうに生活する姿、2年生の落ち着いた生活ぶりやまじめに物事に取り組む姿にはいつも関心しているところです。そして、3年生の学校のリーダーとしての活躍ぶりや授業に取り組む姿が急成長していて、今後に期待しているところです。

性格や考え方が違う人たちが集まって生活しているのが学校です。学校はそうした一人一人のために開かれています。だからこそ生徒の皆さん全員、誰一人違わず『**学校の主役**』なのです。誰もが学校生活を楽しみ、さまざまな力を伸ばしていったほしいと思います。

《最近の曲》 ・先日、あるTV番組で「昭和時代のJポップ」が見直されていて、10代後半～20代の若者たちの中に昭和時代の懐かしい曲を聴いている人たちが増えているそうです。特に歌詞の意味の奥深さに共感したり、感銘を受けているようです。最近かけた曲は、『・海岸通り（イルカ）・オンリーイエスタデー（カーペンターズ）・卒業写真、フィリング（ハイファイセット）・翼をください（赤い鳥）・さらば青春（小椋佳）・・・』でした。